103　午　後

◎　指示があるまで開かないこと。

(平成 29 年 2 月 17 日　13 時 55 分 ～ 15 時 15 分)

注　意　事　項

1. 試験問題の数は 55 問で解答時間は正味 1 時間 20 分である。
2. 解答方法は次のとおりである。

(1)　(例 1)、(例 2)及び(例 3)の問題では 1 から 4 までの 4 つの選択肢、もしくは 1 から 5 までの 5 つの選択肢があるので、そのうち質問に適した選択肢を(例 1)、(例 2)では 1 つ、(例 3)では 2 つ選び答案用紙に記入すること。

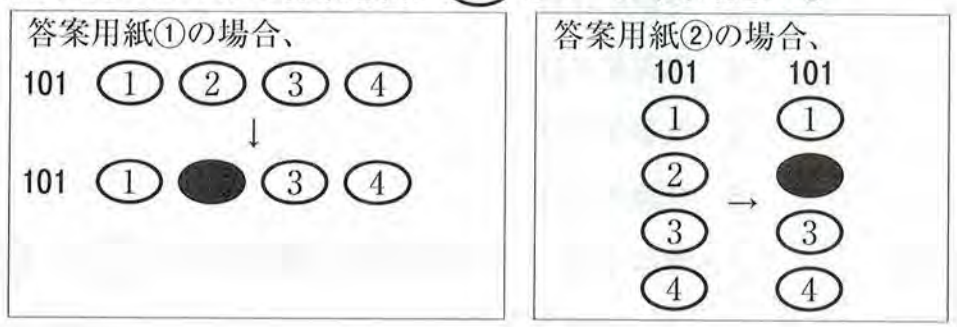
なお、(例 1)、(例 2)の質問には 2 つ以上解答した場合は誤りとする。(例 3)の質問には、1 つ又は 3 つ以上解答した場合は誤りとする。

(例 1)

101　保健師助産師看護師法で、保健師を定義しているのはどれか。

1. 第 1 条
2. 第 2 条
3. 第 3 条
4. 第 4 条

正解は「2」であるから答案用紙の ② をマークすればよい。

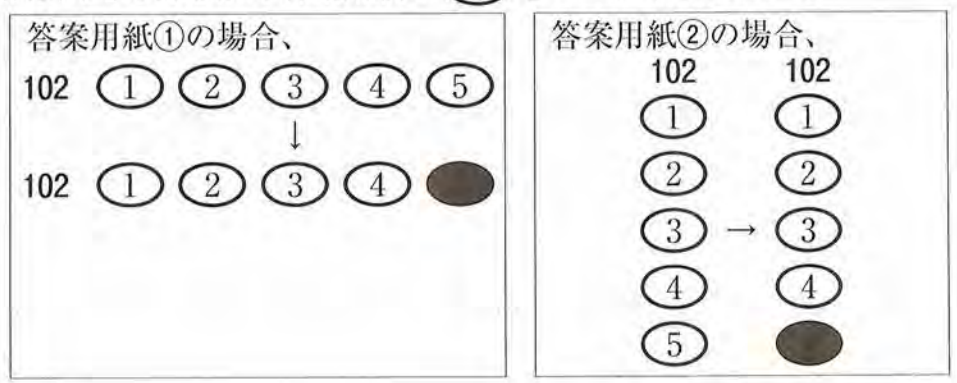


（例２）

102　保健師の離職時の届出が定められているのはどれか。

1. 医療法
2. 学校教育法
3. 地域保健法
4. 保健師助産師看護師法
5. 看護師等の人材確保の促進に関する法律

正解は「５」であるから答案用紙の ⑤ をマークすればよい。

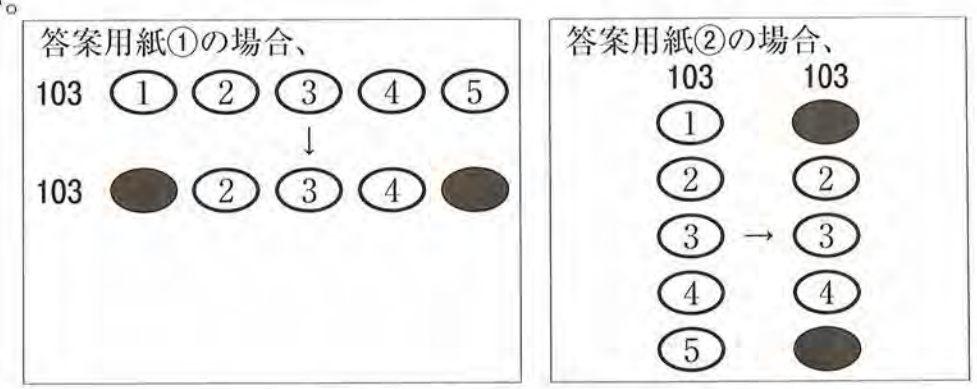


（例３）

103　保健師籍に登録されるのはどれか。**２つ選べ。**

1. 生年月日
2. 受験年月日
3. 卒業年月日
4. 就業年月日
5. 登録年月日

正解は「１」と「５」であるから答案用紙の ① と ⑤ をマークすればよい。



(2) 計算問題については、□に囲まれた丸数字に入る適切な数値をそれぞれ1つ選び答案用紙に記入すること。なお、(例4)の質問には丸数字1つにつき2つ以上解答した場合は誤りとする。

(例4)

104 50床の病棟で入院患者は45人である。

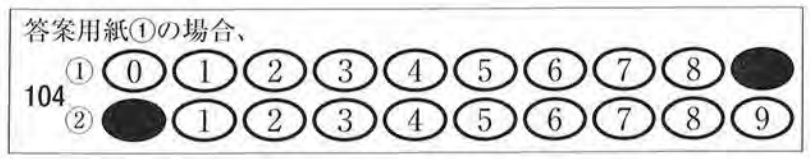
この病棟の病床利用率を求めよ。

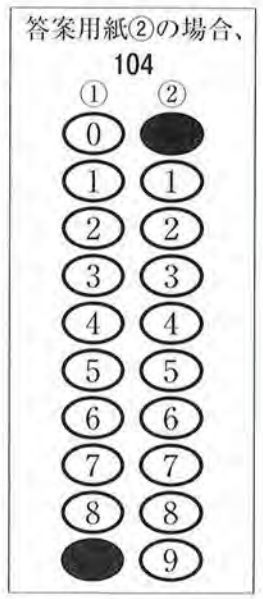
ただし、小数点以下の数値が得られた場合には、小数点以下第1位を四捨五入すること。

解答：①②%

①	②
0	0
1	1
2	2
3	3
4	4
5	5
6	6
7	7
8	8
9	9

正解は「90」であるから①は答案用紙の⑨を②は⓪をマークすればよい。





次の文を読み 55 の問いに答えよ。

Aさん(66歳、女性)。夫(70歳)が早期の直腸癌と診断され、手術を受けた直後に死亡した。1か月後、Aさんは、医療安全支援センターの相談窓口が設置されている保健所に、電話で相談し「主治医から簡単な手術だと説明を受けて手術に同意したが、夫は手術後に亡くなった。納得できないので調査して欲しい」と訴えた。Aさんの希望で、保健所が病院に対して文書でAさんの夫の治療経過を照会したところ「Aさんの夫はまれに発生する術後合併症によって死亡した。術後合併症のことは、患者とAさんとに事前に説明していた。医療事故とは考えていない」と回答があった。

55 保健所の対応で適切なのはどれか。

1. Aさんと病院とで話し合いの場が持てるように支援する。
2. Aさんの夫の手術に関する診療録を病院に開示請求する。
3. 医療行為と死亡との因果関係の有無を明らかにする。
4. 病院に対し事故調査委員会を設置するよう指導する。

次の文を読み 54 の問いに答えよ。

Aさん(39歳、女性、教員)。夫(40歳、会社員)と長男(7歳)との3人暮らし。Aさんは小学校で6年生の担任をしている。夫は仕事で土日も不在のことが多い。長男は放課後に学童保育に通っている。Aさんは2か月間月経がみられないため、自宅近くの産婦人科を受診したところ妊娠11週と診断され、妊娠届を提出するよう指導された。妊娠16週に妊娠届を提出するため保健センターに来所した。保健センターでは、妊娠届の提出に来所した妊婦全員に保健師による面接を実施している。保健師は現在の健康状態、妊娠経過および分娩予定施設についてAさんに確認した。

54 今後のAさんへの支援を計画するために最も優先して確認するのはどれか。

1. つわりの有無
2. 育児用品の準備状況
3. 妊娠届が遅れた理由
4. 子宮がん検診の受診歴
5. 不妊治療の経験の有無

次の文を読み 52、53 の問いに答えよ。

A さん(45 歳、女性、会社員)。夫と 2 人暮らし。A さんが勤務する会社では保健師が職員の健康管理のために面接による相談事業を実施している。A さんは定期健康診断を受診し、結果は身長 160 cm、体重 55 kg、BMI 21、血圧 118/70 mmHg。トリグリセリド 90 mg/dL、HDL コレステロール 70 mg/dL、LDL コレステロール 139 mg/dL、HbA1c 5.0 %、AST〈GOT〉20 IU/L、ALT〈GPT〉15 IU/L、γ-GTP 20 IU/L であった。既往歴に特記すべきことはなく、現在治療中の疾患はない。飲酒はビール 350 mL/日を週 5 日、喫煙はしていない。

52 健康診断の結果から控えるよう指導するのはどれか。

1. 食物繊維
2. 飽和脂肪酸
3. アルコール
4. 総エネルギー量

53 保健師は A さんの健康診断の結果を受け、行動変容に向けて面接を行った。A さんは「管理的な立場で仕事をしているため、帰宅は遅く 21 時くらいになってしまいます。家事もあり毎日が忙しいので、体調を崩したら困るなと思ってはいますが、具合が悪いところもないので具体的には何もしていません」と話した。

行動変容のステージから判断して A さんへの保健師の対応で最も適切なのはどれか。

1. 生活パターンの問題を指摘する。
2. 健康診断の結果の理解度を確認する。
3. 生活習慣の改善に向けた目標を一緒に立てる。
4. 生活習慣の改善に向けて夫の協力を得るように伝える。

次の文を読み 50、51 の問いに答えよ。

A 県では 50 歳代の男性の自殺が増加傾向にあり、自殺予防対策の必要性が検討された。自殺者数が多い B 市において、県と市が共催で自殺予防事業を実施することになった。

50 A 県から事業実施の打診を受けた B 市では、保健師を中心にプロジェクトチームを立ち上げることになった。

プロジェクトチームの参加機関として優先度が高いのはどれか。

1. 精神保健福祉センター
2. 労働基準監督署
3. ハローワーク
4. 県医師会

51 プロジェクトチームで検討した結果、地域における自殺予防の意識を高め、支援者を増やすため、ゲートキーパー養成の事業を実施することになった。まずは、市職員を対象に養成講座を実施し、民生委員やボランティアなどへ対象を段階的に広げてゲートキーパーを増やしていくこととした。講座の受講者からは「自殺予防の必要性を強く感じた」、「自殺予防のために自分にもできることがあることが分かった」などの意見が多く聞かれ、受講者数も増え続けたため、B 市ではこの事業を継続することにした。

B 市での事業の結果を受けて、A 県で検討する内容として適切なのはどれか。

1. 自死遺族の相談事業
2. 他市町村への事業の展開
3. ハイリスク者への家庭訪問
4. 50 歳代男性への質問紙調査

1 地域における看護活動で用いるポピュレーションアプローチとハイリスクアプローチについて正しいのはどれか。

1. ケーブルテレビによる健康講座はハイリスクアプローチである。
2. ポピュレーションアプローチでは健康問題のない集団に働きかける。
3. 住民全体の健康レベルの向上にはハイリスクアプローチが適切である。
4. 生活習慣病の受療者への健康教育はポピュレーションアプローチである。

2 市町村の保健師の活動として**適切でない**のはどれか。

1. 細菌性赤痢の患者の積極的疫学調査
2. 老人クラブでの健康教育の実施
3. 統合失調症患者への家庭訪問
4. 16 歳の妊婦への保健指導

3 社会保障・税一体改革において推進する保健福祉事業はどれか。

1. 保育サービスに係る量の拡充
2. 障害者の虐待防止
3. がん登録の推進
4. 自殺の予防

4　地球温暖化対策と根拠の組合せで正しいのはどれか。

1. グリーン経済への移行 ―――――――― 特定家庭用機器再商品化法
2. オゾン層の保護に向けた取り組み ――――― アジェンダ21
3. 先進国の温室効果ガスの排出量の削減 ――― 京都議定書
4. 気候変動に関する国際連合枠組条約の批准 ――― リオ＋20

5　Aさん(39歳、初妊婦)。妊娠26週で市の母親学級に参加した。Aさんは、あまり楽しそうな表情をしておらず、グループワークでの発言も少なかった。終了後に母親学級担当の保健師がAさんに声をかけたところ「産後の育児が不安です」と話した。

不安な気持ちについて傾聴した後のAさんへの対応として最も適切なのはどれか。

1. 「産後にホームヘルプサービスを利用してはどうですか」
2. 「お住まいの地区を担当している保健師を紹介します」
3. 「受診している産科の医師に相談してみましょう」
4. 「育児に慣れるまで里帰りすることはできますか」

6　A市のB地区は肥満者の割合が市内の他の地区に比べて高い。B地区の担当保健師が健康相談を実施した際、夜食を摂る者が多くいることが分かった。

B地区の担当保健師の活動で最も優先されるのはどれか。

1. 食生活改善推進員へのフォーカス・グループインタビュー
2. 市の栄養士による栄養相談内容の分析
3. 地区住民を対象とした食生活実態調査
4. 国民健康保険の医療費分析

49　家庭訪問から1週後、両親、主治医、病棟看護師、理学療法士、退院調整看護師、社会福祉士、訪問看護師および地区担当保健師が出席して、初回の退院調整カンファレンスが行われた。両親は退院後の生活に不安はあるものの、Aちゃんの面倒は自分達がみるべきであると考え、できるだけ他者の手を借りずに育てたいと思っているということであった。今後の方針として、小児科の一般病棟に転棟し、在宅療養に向けた医療的ケアの手技や育児の練習を行い、その後に自宅への外泊訓練を実施することが決まった。次回のカンファレンスは、院内で在宅療養に向けたシミュレーションを行った後、医療的ケアの手技などの習得状況の評価と外泊訓練に向けた準備について話し合う予定である。

次回のカンファレンスに参加を依頼する機関として優先度が高いのはどれか。

1. 医療型児童発達支援センター
2. 訪問診療を実施している診療所
3. 医療型短期入所を実施している療育施設
4. 訪問リハビリテーションを実施している事業所

次の文を読み48、49の問いに答えよ。

Aちゃん(生後5か月、女児)。父親(37歳)、母親(35歳)は病院の近くの市に2人で暮らしており、Aちゃんの祖父母は遠方に住んでいる。AちゃんはGCUに入院中である。

現病歴 ： 在胎32週で羊水過多、胎児発育不全、心臓奇形および小脳低形成のため羊水の染色体検査を受け、18トリソミーと診断された。在胎週数37週0日、体重1,780 gで出生し、NICUに入院した。食道閉鎖のため出生当日に胃瘻造設術を、気管軟化症のため生後3か月に気管切開術を受けた。気管切開下で24時間人工呼吸器管理、30分に1回程度の気管内吸引を実施している。

家族歴 ： 特記すべきことはない。

身体所見 ： 体重2,900 g。体温37.0℃、脈拍130/分、経皮的動脈血酸素飽和度〈SpO_2〉94～96 %。定頸していない。

48 両親ともにAちゃんの退院を心待ちにしている。2か月以内の自宅への退院を目指すため、病院から保健所に退院調整カンファレンスへの参加依頼があり、地区担当保健師は事前に自宅を訪問することとした。

このときの訪問で保健師が両親から収集する情報で適切なのはどれか。

1. 今後の治療方針
2. 療育手帳の申請の有無
3. 今後の予防接種の計画
4. 自宅の療養環境の準備

7 健康教育に関する理論で保健行動に対する個人の心理に着目しているのはどれか。

1. アドボカシー
2. ヘルスリテラシー
3. ヘルス・ビリーフ・モデル
4. プリシード・フレームワーク

8 A市では青年期のひきこもり状態にある者への支援として、地区担当保健師による家庭訪問を行っている。次の支援として、保健師はグループづくりを進めることとした。

このグループとして適切なのはどれか。

1. サポートグループ
2. コミュニティグループ
3. セルフヘルプグループ
4. ボランティアグループ

9 健康診査の結果説明会で、受診勧奨の対象ではなかったが、血圧が高い者が8人いた。保健師は、メンバー間の相互作用を促しながら、生活習慣病を予防することを目的としたグループを作り支援を行うことにした。

このグループへの支援として最も適切なのはどれか。

1. 他のグループと交流する機会を設ける。
2. グループで1つの血圧の目標値を設定する。
3. 高血圧症の専門医の講義を聞く機会を設ける。
4. メンバーが各自の食生活の課題を話し合う機会を設ける。

10　インフルエンザの予防接種について正しいのはどれか。

1. 二次予防である。
2. ワクチンの種類はトキソイドである。
3. 予防接種法におけるＢ類疾病である。
4. 定期予防接種の対象は15歳未満である。

11　次年度の地域保健活動計画を立案するにあたって、保健師が最初に取り組むのはどれか。

1. 福祉部門と計画について話し合う。
2. 地域の医療機関の要望を確認する。
3. 今年度の地域における保健活動の実績を評価する。
4. 医療や福祉に関する施設整備計画の進捗状況を確認する。

12　肺がん罹患率が高いことから、市の健康増進計画で喫煙率の低下を目標とし、禁煙相談事業を実施した。

事業の評価の種類とその指標の組合せで正しいのはどれか。

1. プロセス評価 ――― 肺がんの受療率
2. 影響評価 ――― 禁煙相談事業参加者の禁煙に関する理解度
3. 成果評価 ――― 肺がん検診の受診者数
4. 成果評価 ――― 禁煙相談事業の参加者数

13　母子保健推進員について正しいのはどれか。

1. 法律で定められた研修を受ける必要がある。
2. 都道府県知事からの委嘱を受ける。
3. 行政と住民とのパイプ役である。
4. 母子保健法に規定されている。

47　参加者の基礎的背景を補正しても、「運動習慣あり」の方が死亡率は有意に低かった。しかし、この結果からは「運動すれば長生きできる」という結論を導くことはできない。

その理由はどれか。

1. 介入研究ではない。
2. 情報バイアスがある。
3. 二重盲検がされていない。
4. 平均余命で比較していない。

次の文を読み 45～47 の問いに答えよ。

運動習慣の死亡率に対する影響の調査のために1万人を対象とした10年間のコホート研究を行った。本研究では、年齢、食習慣および経済状況など参加者の基礎的背景も併せて調査した。脱落者を除いた結果を表に示す。

	疾患別の死亡数(人)				観察人年
	疾患 A	疾患 B	疾患 C	その他の疾患	
運動習慣あり	100	20	5	200	40,000
運動習慣なし	140	100	10	400	40,000
合計	240	120	15	600	80,000

45 運動習慣があることに対して、運動習慣がないことの疾患 A による死亡に関する1万人対の寄与危険はどれか。

1. 0.4
2. 0.7
3. 1.4
4. 10
5. 40

46 運動習慣と死亡との関連が最も強いのはどれか。

1. 疾患 A
2. 疾患 B
3. 疾患 C
4. その他の疾患

14 A さん(22歳、女性、専業主婦)。夫と生後2か月の児との3人暮らし。他県から B 市へ転入直後に、住民票の手続きのため市役所を訪れた。保健師は3か月児健康診査や保健事業について説明をした。A さんは「初めての育児なので不安なことが多いです。夫は残業が多いため帰りが遅く、両親は遠くに住んでいるので頼れない。慣れない土地でどこに何があるかもよく分からないんです」と話した。

このとき、保健師が A さんに紹介する社会資源として適切なのはどれか。

1. 母子生活支援施設
2. 児童家庭支援センター
3. 母子・父子休養ホーム
4. 地域子育て支援センター

15 国民健康づくりの目標として初めて自殺者の減少を掲げたのはどれか。

1. 第一次国民健康づくり対策
2. 第二次国民健康づくり対策〈アクティブ 80 ヘルスプラン〉
3. 第三次国民健康づくり対策〈健康日本 21〉
4. 第四次国民健康づくり対策〈健康日本 21(第二次)〉

16 日本の学校看護婦の歴史で正しいのはどれか。

1. 学校医よりも先に配置された。
2. 特定の科目の修得によって認定された。
3. 欧米のスクールナースがモデルになった。
4. トラコーマの洗眼や点眼を行うために始まった。

17　平成25年度(2013年度)の新型インフルエンザ等対策政府行動計画において、緊急事態宣言がされている場合の措置として規定されているのはどれか。

1. 国のコールセンター等の体制を強化する。
2. 事業者に職場における感染対策を要請する。
3. 国内発生状況について世界保健機関〈WHO〉へ通報する。
4. 市町村に在宅の高齢者等の要援護者への生活支援を要請する。

18　リスクコミュニケーションについて正しいのはどれか。

1. リスク評価の3要素の1つである。
2. 食品衛生法に基本理念が規定されている。
3. 関係者相互で情報および意見を交換し、合意形成を図る。
4. 促進を図ることが地域健康危機管理ガイドラインに規定されている。

19　研修において面接技法の修得に適している学習方法はどれか。

1. 事例検討
2. ロールプレイ
3. e－ラーニング
4. 専門家による講義

44　養護教諭は、Aちゃんのような児童が他にもいるのではないかと考え、これまでの発育および欠席状況による確認に加え、新たな対策を立てることとした。

緊急に対応する必要性の高い児童を抽出するための方法で最も適切なのはどれか。

1. 学校教職員を対象にした研修会の実施
2. 忘れ物の多い児童の把握
3. 担任による親子面談
4. 児童への食生活調査

次の文を読み 42～44 の問いに答えよ。

Ａちゃん（９歳、女児）。４か月前から母親と親しくなった男性との３人暮らしを始めている。Ａちゃんは「新しいお父さんができた」と喜んでいたが、１か月前から忘れ物が多くなり、この１か月に４日欠席をしている。担任が連絡をしたところ、母親から「家庭内のことに関わらないで欲しい」と激しい口調の拒絶を受けた。保健室で休むことも多くなったため、養護教諭がＡちゃんに確認したところ、母親と男性が出掛けて戻らない日が多く、Ａちゃんは菓子パンなどを買って食べているとのことであった。

42 養護教諭や担任などが集まって対応を協議した。
対応を協議する根拠となったＡちゃんの状況はどれか。

1. 低栄養
2. 不登校
3. ネグレクト
4. 引きこもり

43 ３日後、専門機関によるＡちゃんへの支援が開始された。その後のＡちゃんの出欠状況や家庭環境の変化などについて、専門機関から学校に定期的な情報提供の依頼があった。
窓口となった養護教諭の対応として適切なのはどれか。

1. 情報提供は保護者の同意がなければ行わない。
2. Ａちゃんから情報収集するよう伝える。
3. ３か月に１回情報提供を行う。
4. 情報提供は書面で行う。

20 標準化死亡比〈SMR〉を求めるために必要な指標はどれか。

1. 基準集団の死亡率
2. 基準集団の年齢別人口
3. 観察集団の年齢別人口
4. 観察集団の年齢別死亡率

21 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律〈障害者総合支援法〉で規定されている地域相談支援について正しいのはどれか。

1. 地域定着支援を行う。
2. 利用者の負担額は１割である。
3. 障害支援区分の認定が必要である。
4. 指定特定相談支援事業者が実施する。

22 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律〈感染症法〉について正しいのはどれか。

1. 予防接種を行う疾病を定めている。
2. 十分な説明と同意に基づいた入院勧告制度がある。
3. 特定感染症指定医療機関は都道府県知事が指定する。
4. ４類感染症を診断した医師は７日以内に届出を行わなければならない。

23 地域保健法における市町村の役割で正しいのはどれか。

1. 健康危機管理の拠点
2. 食品衛生に関する指導
3. 関係機関への技術的な援助
4. 地域保健対策に必要な人材の確保

24 障害児の放課後等デイサービスの定義を定めている法律はどれか。

1. 児童福祉法
2. 学校保健安全法
3. 発達障害者支援法
4. 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律〈障害者総合支援法〉

25 平成26年(2014年)の日本における各年代と年代別死因第1位の組合せで正しいのはどれか。

1. 20歳代 ――― 自　殺
2. 30歳代 ――― 悪性新生物
3. 40歳代 ――― 心疾患
4. 50歳代 ――― 脳血管疾患
5. 60歳代 ――― 肺　炎

26 患者調査で把握できるのはどれか。

1. 有訴者率
2. 死亡率
3. 致命率
4. 有病率
5. 受療率

41 保健所の保健師は、今回の事例を踏まえ、管内の事業所を対象に結核に関する正しい知識を啓発するためにリーフレットを作成することにした。

リーフレットに掲載する内容で適切なのはどれか。**2つ選べ。**

1. 「従業員のBCG接種を推奨します」
2. 「定期的に作業場の換気をしましょう」
3. 「結核は治療をすれば3か月で治ります」
4. 「健康診断は6か月ごとに受診しましょう」
5. 「咳が2週間以上続くときは医療機関を受診しましょう」

次の文を読み 39～41 の問いに答えよ。

Aさん(40歳、男性)。妻と2人暮らし。Aさんは3年前に転職し、従業員数30人のコンピュータ関連の事業所に勤務している。6か月前から軽い咳が続いていたが、メンバー数5人の新規プロジェクトチームの責任者として忙しく、そのままにしていた。妻に痩せてきたことを指摘され、自宅近くの診療所を受診したところ、胸部エックス線写真で異常陰影があり病院を紹介され受診した。喀痰塗抹菌検査陽性、結核菌PCR陽性となり、肺結核と診断され入院した。診断した医師から保健所に結核発生の届出があった。

39 保健所の保健師がAさんに初回面接で確認する内容で適切なのはどれか。**2つ選べ。**

1. 出勤状況
2. 転職前の職場
3. 運動習慣の有無
4. 結核に対する認識
5. 特定健康診査の結果

40 接触者健康診断を実施したところ、妻が感染し、プロジェクトチームのうち1人が発病し、2人が感染していることが分かった。

保健所が次に行う対策として最も適切なのはどれか。

1. 事業所の消毒
2. 健康相談窓口の設置
3. 接触者健康診断の拡大実施
4. 地域の医師会への結核発生報告

27 妊娠前期の母親学級のプログラムに取り入れる歯科保健のテーマで優先度が高いのはどれか。

1. 歯周疾患の予防
2. フッ素化合物の効果
3. 甘味食品の摂取制限
4. 乳児の歯磨きの方法
5. 小児の咀嚼機能の発達

28 ケアマネジメントについて正しいのはどれか。**2つ選べ。**

1. 導入する社会資源を検討する。
2. 専門職の判断を優先してケアプランを作成する。
3. 法律に基づいた制度を活用することが原則である。
4. 利用者はサービス担当者の会議に参加することはない。
5. 継続的なケアを行うには関係機関の連携が重要である。

29 地域包括ケアシステムの推進に向けて、実務者が集まって地域ケア会議を開催することにした。

地域ケア会議で取り扱う内容として正しいのはどれか。**2つ選べ。**

1. 個別事例の検討を行う。
2. ケアプランを作成する。
3. 介護保険事業計画を策定する。
4. 地域にある社会資源の課題を共有する。
5. 地域支援事業の予算配分について検討する。

30 産業保健総合支援センターについて正しいのはどれか。**2つ選べ。**

1. 衛生管理者の選任を行う。
2. 特殊健康診断の委託を受ける。
3. 事業者に対する研修を実施する。
4. 産業保健に関する情報提供を行う。
5. 労働基準監督署ごとに設置されている。

31 特殊災害に分類されるのはどれか。**2つ選べ。**

1. 原子力発電所の事故による放射線の漏えい
2. 石油タンカーの座礁による海水の汚染
3. 列車の脱線による交通網の障害
4. 大雨による河川の氾濫
5. 地震による橋の崩落

37 保健師がBさんとともに家庭訪問したところ、Aさんは訪問に戸惑っていたが、玄関先で話をしてくれた。Aさんの服装に乱れはなかった。室内にはごみ袋がいくつか置いてあり、捨てられていないようであった。Aさんは、少しずつ自分のことを話し始め「妻が亡くなってから楽しいことはなく、外に出かけたくない」と言い、表情は暗かった。Bさんが何か手伝うことがないか尋ねるとAさんは「心配してくれてありがとう。でも今は1人でいたいです」と言った。保健師は3日後に1人で訪問することを伝え、この日は訪問を終了した。

保健師の次回の訪問計画で適切なのはどれか。

1. 外出の重要性を説明する。
2. ごみを片付けるよう促す。
3. 精神科への受診を勧める。
4. 妻との別れを一緒に振り返る。
5. ホームヘルプサービスの利用を勧める。

38 保健師は2週に1回の家庭訪問を続け、Aさんとの信頼関係が構築されてきた。Aさんは家の中を少しずつ整理し、散歩にも出かけるようになった。保健師の初回訪問から3か月後、Aさんから「亡くなった妻のためにも、自分が少しでも長生きしなければと思うようになったが、何をしたらよいのか分からない。少しずつ外に出てみようと思うが、人付き合いにはあまり自信がない」と相談があった。

Aさんに勧めることとして最も適切なのはどれか。

1. 地域包括支援センター主催の介護予防教室への参加
2. 老人福祉センターでのサークル活動への参加
3. 高齢者サロンのボランティアへの登録
4. シルバー人材センターへの登録

次の文を読み 36～38 の問いに答えよ。

Aさん(70歳、男性)。1人暮らし。近所に住む友人のBさん(60歳、男性)からAさんについて地域包括支援センターの保健師に相談があった。Aさんは3年間介護していた妻が半年前に亡くなってから痩せ、最近は外であまり見かけなくなったという。翌日、保健師が民生委員に状況確認の連絡をしたところ、Aさんの現在の状況を把握していなかった。保健師はAさんの状況を把握するため、来週Bさんと一緒に家庭訪問を行うことにした。

36　家庭訪問時に収集すべき情報として最も優先度が高いのはどれか。

1. 既往歴
2. 毎日の食事内容
3. 友人との交流状況
4. 直近の健康診査の結果
5. 自治会活動への参加状況

32　国民健康・栄養調査で把握できるのはどれか。**2つ選べ。**

1. 健康寿命
2. BMIの平均値
3. 蛋白質の必要量
4. 喫煙習慣者の割合
5. 支出に占める食料費の割合

33　平成25年(2013年)に「地域における保健師の保健活動に関する指針」が改正された背景について正しいのはどれか。**2つ選べ。**

1. 健康日本21の策定
2. 特定健康診査の導入
3. 障害者の支援費制度の導入
4. 地域包括支援センターの設置
5. 感染症から生活習慣病への疾病構造の変化

34 因果関係を推測することができる研究デザインはどれか。**2つ選べ。**

1. 横断研究
2. 記述疫学
3. 生態学的研究
4. コホート研究
5. 症例対照研究

35 心筋梗塞発症者100人と性・年齢をマッチングした心筋梗塞非発症者100人の5年前の健康診査の結果を調査し、糖尿病の有無を確認した。その結果、心筋梗塞発症者で20人、心筋梗塞非発症者で15人が糖尿病であった。

糖尿病であることの心筋梗塞発症に対するオッズ比を求めよ。

ただし、小数点以下第2位を四捨五入すること。

解答：①.②

①	②
0	0
1	1
2	2
3	3
4	4
5	5
6	6
7	7
8	8
9	9